

公益財団法人 日本自然保護協会

〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F

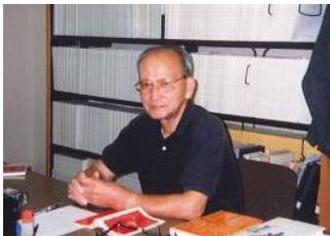
第12回沼田眞賞の受賞者が決定しました

公益財団法人 日本自然保護協会(理事長 亀山章、会員3万7千人)は、自然保護にすぐれた実績を挙げた方を顕彰し奨励する「沼田眞賞」を、4個人1団体に授与することを決定しました。

■受賞者

○上野 登(てるはの森の会代表)

「宮崎県における照葉樹林の保護と鉍毒問題への取り組み」



○平吹 喜彦(東北学院大学教授)

「東日本大震災後の海岸エコトーンの再生に向けた自然保護活動」



○谷口 弘一(國學院大學栃木短期大学講師)

「北海道におけるアツモリソウをはじめとする植物種の保存および普及活動」



○NPO 法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会

「天覧山・多峯主山の森の保護とモニタリング活動」



○野田 三千代(海藻おしぼ協会会長)

「海藻の美しさを糸口とした海の環境保全活動」



日本自然保護協会 沼田眞賞

自然保護に関する研究・実践で優れた実績をあげた方をたたえ、奨励する賞です。

「自然保護」という言葉が一般的でない時代から、生態学者として客観的な論理と、NGO 会長として誰に対しても自然を守ることの大切さを真っ直ぐに訴えてきた、故・沼田会長の思いを未来に伝えていくため、2001年の日本自然保護協会創立50周年記念に設立しました。

■授賞式・記念講演会

日時: 2013年2月3日(日) 13:30~17:00(予定)

会場: 清澄庭園 (東京都江東区清澄 3-3-9 / 都営大江戸線・東京外口半蔵門線「清澄白河」駅徒歩4分)

※参加無料

◆本件に関する問合せ先:

公益財団法人 日本自然保護協会 管理部・田村

Tel:03-3553-4101 tamura@nacsj.or.jp

■授賞理由・略歴

○上野 登(うえの のぼる)

「宮崎県における照葉樹林の保護と鉍毒問題への取り組み」

1960年代から、大崩山の原生林伐採、中霧島有料道路建設など、宮崎県における自然保護運動に取り組むとともに、高千穂町土呂久の砒素鉍毒問題においても、鉍毒被害者を守る活動を支えてきた。綾町の郷田町長の依頼を受け、照葉樹林文化シンポジウムを開催するとともに、九州電力の送電線鉄塔建設に反対し、綾の森を世界遺産にする会を立ち上げた。その成果として、2012年7月、綾の照葉樹林はユネスコの生物圏保存地域に指定された。

【略歴】1926年生まれ、九州大学経済学部卒、「土呂久・松尾等の鉍毒被害者を守る会」会長(1983～1992)、「アジア砒素ネットワーク」代表(1997～2011)、「綾の森を世界遺産にする会」代表(2002～)、照葉樹林プロジェクトの民間事務局「てるはの森の会」代表

○谷口 弘一(たにくち ひろかず)

「北海道におけるアツモリソウをはじめとする植物種の保存および普及活動」

北海道教育大学の教授として、レブンアツモリソウを盗掘から守るため、研究のみならず積極的な保全活動に取り組み、種の保存法の国内希少野生動植物種の指定、北海道の天然記念物指定などに貢献した。また、「北海道の野の花」をはじめとする環境教育の教材出版に取り組み、北海道における植物保護に貢献した。

【略歴】1934年札幌生まれ、北海道教育大学教授(1985～1999)、國學院大學栃木短期大学教授(1999～2006)、國學院大學栃木短期大学講師

○野田 三千代(のだ みちよ)

「海藻の美しさを糸口とした海の環境保全活動」

筑波大学下田臨海実習施設において、海藻の標本作りなどの研究補助を務めながら、漂着海藻などを使った「海藻おしば」を考案し、子供から大人までを対象とした講座や教室を通じて、海藻を糸口に海の生態系の重要性を理解させる活動を続けてきた。2004年には海藻おしば協会を設立し、全国に活動を広げている。これは、これまでにないユニークな環境教育活動である。

【略歴】静岡県生まれ、海藻おしば協会会長、日本藻類学会員、静岡県環境審議委員

○平吹 喜彦(ひらぶき よしひこ)

「東日本大震災後の海岸エコトーンの再生に向けた自然保護活動」

2011年3月の東日本大震災の後、いち早く、仙台市宮城野区南蒲生(新浜地区)の砂浜海岸域で生態系モニタリングを開始し、自然修復を尊重した多様性・多機能海岸エコトーンの新創出、ふるさとの自然と人(社会)の豊かさが持続しうる復興に向けた提案をしている。海岸部の被災地で復旧という名の下に大規模な防潮堤工事が進んでいるが、再生しつつある野生動植物に配慮した復興や工事を訴える平吹氏の主張は生物多様性や生態系に配慮した復興を進めるために重要である。

【略歴】1957年山形県生まれ、理学博士、宮城教育大学元教授、東北学院大学教養学部地域構想学科教授

○NPO 法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会(てらんざん・とうのすやまのしぜんをまもるかい)

「天覧山・多峯主山の森の保護とモニタリング活動」

1995年に天覧山・多峯主山(埼玉県飯能市)の緑地を住宅開発から守るために結成され、変更を求める署名、自然環境調査、自然観察会など粘り強い活動を続けた。経済状況の変化を理由として2005年に住宅開発は中止され、市条例に基づく景観緑地ならびに飯能・西武の森として保全されることになった。2006年にNPO法人となり、谷津田の買い取り、里山の保全活用の他、モニタリング1000里地調査サイトとして熱心にモニタリング活動を行っている。

【略歴】1995年結成、2006年NPO法人化。会員約110名。現在、トラスト運動で取得した谷津田(約600㎡)を拠点に里山保全、エコツアーなどを実施している。

公益財団法人 日本自然保護協会(NACS-J)

1949年に尾瀬が原を水没させる発電ダム計画への反対運動のため設立した「尾瀬保存期成同盟」が前身の日本生まれのNGOです。1951年に日本自然保護協会に発展的に改組。今年で創立60周年を迎えました。1960年に日本の自然保護団体として初の財団法人、2011年公益財団法人認定。理事長・亀山章、会員数約37,000人。NACS-J(ナックス・ジェイ)は英名の略称です。

◆NACS-J公式サイト <http://www.nacsj.or.jp>